



あなたと  
議会をむすぶ

# しばた議会だより

166号

令和元年11月1日



届け未来へ みんなの想い♪

「議会ネット中継」への  
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ  
を参照してください。



# あなたの地区の 防災・減災について聞きました



今年の議会懇談会は、テーマを「防災・減災について」として7月24日、25日の2日間、小学校区ごとに行いました。

参加者の方には、自分が住んでいる周辺や地域の現状などを話していただき、自分たちが行っていることや心掛けていること、行政にしてほしいことなどを、昨年引き続き小グループのワークショップ形式で話し合っていました。

自主防災組織、消防団、婦人防火クラブからも多くの方に参加していただきました。

## 懇談1 「防災・減災について」

### 周りや地域の現状・心掛けていること

- ・町内会で水を備蓄している
- ・防災訓練を行っている
- ・白石川付近に住んでいるため、水害を心配している
- ・側溝の泥上げを実施している

### 自分たちでできること

- ・自分・家族の安全を確保し、要支援者を支援する
- ・災害は毎回違うので、いろいろな場合を想定しておく
- ・防災マップを有効に活用する

### 行政にしてほしいこと

- ・土手内地区の避難場所を考えてほしい
- ・小中学生に防災教育を
- ・最後の避難場所になる総合体育館の早期着工（完成）

## 保健センター

### 防災マップを有効に活用



## 槻木生涯学習センター

### コミュニティの大切さ



### 周りや地域の現状・心掛けていること

- ・防災訓練を実施している
- ・災害時に利用できる井戸がある
- ・役員として、大雨時には見回りをしている
- ・家族で避難先を決めている

### 自分たちでできること

- ・防災のためのアイデアを意見交換している
- ・区長を中心に住民が話し合う（コミュニティの大切さ）
- ・被害想定地域に住んでいる方には、早めに声をかける

### 行政にしてほしいこと

- ・防災情報の周知手段の確立
- ・避難所に Wi-Fi を備え、災害時に連絡が取れるようにしてほしい
- ・防災マップの配布。それを基に地元マップをワンペーパーで作成してほしい

船迫生涯学習センター

周りや地域の現状・心掛けていること

- ・防災訓練の実施と自主防災組織の各区の情報交換
- ・自動車学校付近の田んぼの冠水と、地下道に雨水が溜まる
- ・太陽の村からの水の流れが心配
- ・安否確認台帳を班長が持っている（家族名、人数など）

自分たちでできること

- ・地域との交流と普段からの声かけ
- ・町からの防災メールが届くように登録する（家族一人でも）
- ・避難所経路図を全戸配布

行政にしてほしいこと

- ・排水路の泥上げをしてほしい
- ・優先避難所には大きな看板を
- ・具体的な避難指示がほしい。避難指示3・4を明確に

町の防災メールに登録



西住公民館

鷺沼排水の早期完成を



周りや地域の現状・心掛けていること

- ・水害時、交通が混乱
- ・冠水、浸水で孤立してしまう
- ・冠水の前に車を移動している
- ・隣近所への声掛け

自分たちでできること

- ・水・食料の備蓄。防災用品の確保
- ・正しい情報の把握
- ・隣近所の人との話し合いの時間を設ける

行政にしてほしいこと

- ・早めの防災情報を出してほしい
- ・液状化の情報がほしい
- ・鷺沼排水区整備の早期完成を

船岡生涯学習センター

周りや地域の現状・心掛けていること

- ・雨水対策で常設ポンプが設置され、少し安全になったかも
- ・雨が降ると心配である
- ・災害弱者のリスト作成を行っている
- ・災害時の正確な情報共有が課題である

自分たちでできること

- ・自分の住んでいるところを知る（人、地形、災害の歴史など）
- ・行政区の防災訓練をもっとやってほしい
- ・大規模災害時に備えた訓練の徹底

行政にしてほしいこと

- ・住宅地開発や建設の時、雨水対策に留意してほしい
- ・三名生地区の避難所は船岡生涯学習センターだが、新体育館（防災を含む）の早期着工を
- ・防災協定を仙台大学と結び、避難所を確保してほしい

正確な情報の共有



農村環境改善センター

柴田小周辺の冠水対策



周りや地域の現状・心掛けていること

- ・地区で防災マップを作成し全戸に配布予定。道路冠水箇所や土砂崩れ箇所を地図に取り入れる
- ・大雨時に冠水し、通行止めになることがある
- ・土砂崩れが心配
- ・東日本大震災を教訓にし、個人で発電機をもっている

自分たちでできること

- ・今は行政区ごとで行っている防災訓練を入間田全域で行いたい
- ・消防団(班)での見回りを月2回行っている
- ・行政区ごと、班ごとに井戸のある家を確認し登録する

行政にしてほしいこと

- ・中瀬から関根川堀の川底が浅くなっているので浚渫してほしい
- ・柴田小学校周辺の冠水対策を
- ・落石防止ネットを設置してほしい

## 懇談2 町政・議会全般について

町政や議会について、皆さんが感じていることを話し合っていました。抜粋して掲載いたします。

### 安全安心（道路整備など）

- ・歩きやすい道路を（段差のない歩道）
- ・側溝対策を
- ・冠水・浸水対策を
- ・通学路の安全確保を
- ・歩道が荒れていて歩きにくい など

### 免許返納について

- ・デマンドタクシーの中核病院までの乗り入れを
- ・巡回バスを取り入れては
- ・免許返納者への対策を
- ・デマンドタクシーを町独自のやり方を考えて など

### 空き家対策について

- ・行政で管理を
- ・空き家・空地の雑草の管理を
- ・空き家をカフェにしては など

### まちの活性化について

- ・企業を誘致し、働ける場所の確保を
- ・「花のまち柴田」を町全体に浸透を
- ・スポーツでつながるまちづくり など

### 議会に対して

- ・議員定数の見直しを
- ・町・議会・住民が情報共有すること
- ・議会懇談会の参加者増を など

### その他

- ・待機児童対策を
- ・若者が消防団に入団できる環境整備を
- ・野良猫対策を など

## 参加者データ

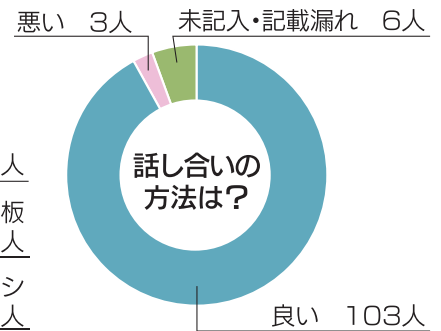
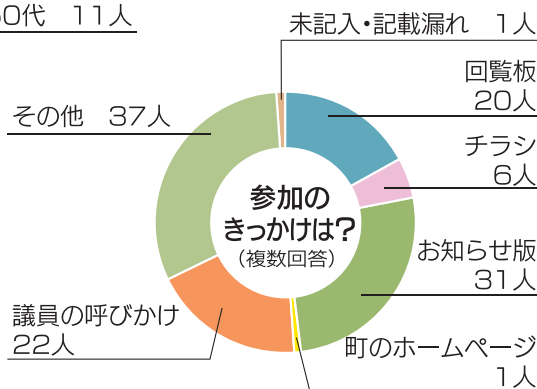
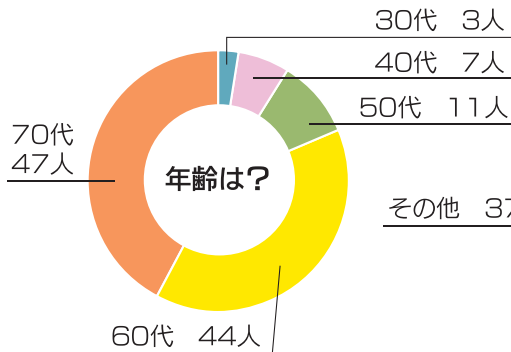


## 各会場参加者数

会場	参加者数
保健センター	22人
船迫生涯学習センター	17人
槻木生涯学習センター	15人
西住公民館	28人
船岡生涯学習センター	13人
農村環境改善センター	30人
合計	125人

## アンケート

(125人中112人が回答)



## 参加者の意見



薄木 成也さん  
(船岡地区)

防災士なので町のことを把握したいと思い参加しました。  
総花的でなく具体的なことを話したかったです。



櫻井 恵子さん  
(槻木地区)

婦人防火クラブとして初めて参加しました。各議員と楽しくお話ができたのでよかったです。



高橋 会子さん  
(西船迫地区)

初めて参加しました。議員を身近に感じました。今日は来てよかったです。

伊藤 光子さん  
(入間田地区)



初めて参加したが色々な意見が聞けました。防災についても考えることができよかったです。

高田 三郎さん  
(西船迫地区)



地域づくりは住んでいる人が本気にならないといけない。行政、議員そして町民と一緒にまちづくりをしたいです。

佐々木 功さん  
(海老穴地区)



身近なテーマで参加してよかったです。地域の防災対策が聞けて勉強になりました。



平間 くみさん  
(三名生地区)

防火クラブ員として初めて参加しました。今日は防災についてたくさんの方と話できました。



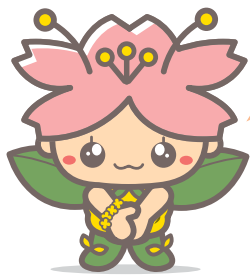
平間 勉さん  
(三名生地区)

限られた時間の中でしたので、もう少し自由に意見が言える時間があればよかったですね。



大沼 辰也さん  
(西住地区)

初めての参加で新鮮でした。また参加したいです。



多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。いただきましたご意見は議会として委員会活動などに反映させていただきます。

佐々木紀子さん  
(西住地区)



和やかな雰囲気の中での話ができよかったです。

## 第1回柴田町公開議員研修会

### 「防災・減災」について考える

**第1部** 大雨に備えて 柴田町の対応の観点から  
都市建設課長 水戸 英義 氏

**第2部** 過去の災害に学ぶ、クロスロード防災研修  
元仙台市地震防災アドバイザー 太田 千尋 氏

7月18日、槻木生涯学習センターを会場に、議員研修会を開催しました。  
第1部では過去に起きた大きな水害、町内の水の流れと町の大雨水害などの説明がありました。  
第2部ではクロスロード研修を受けました。クロスロードとは「岐路」「分かれ道」の意味です。様々な状況の中で、自分が市民、被災者、役場職員の立場だったら二つの選択肢のうちどちらを選ぶかを決める訓練でした。



# 一般会計の歳出決算

# 128億8,483万円



9月会議 9月2日～17日	
2日	議案説明
3～5日	一般質問
6日	議案審議、総括質疑、決算審議
9、10日	決算審議
11日	全員協議会(ワールドカフェ)
12日	全員協議会(分科会)
13日	決算審議
17日	決算認定・附帯決議など

## 町の決算を家計にたとえてみました



### はなみちゃん

### 家の家計簿

#### 収入 (歳入)

収入項目	金額
給料(町税)	146万円
パート、アルバイト収入 (分担金・負担金など)	23万円
貯金の引出し (繰入金)	11万円
昨年からの繰越 (繰越金)	5万円
親からの仕送り (地方交付税)	89万円
親からの特別な仕送り (国・県支出金)	108万円
銀行から借入 (町債)	44万円
その他 (財産収入・寄付金)	7万円
合 計	433万円

#### 支出 (歳出)

支出項目	金額
食費(人件費)	72万円
医療費(扶助費)	54万円
光熱水費、日用品の購入 (物件費)	67万円
子どもの学費・仕送り (補助費、繰出金)	104万円
家の増改築 (普通建設費、災害復旧費)	61万円
家電、車の修理 (維持補修費)	3万円
会社への出資 (投資、出資、貸付金)	9万円
ローン返済(公債費)	41万円
貯金(積立金)	18万円
合 計	429万円

9月会議が9月2日から17日までの日程で開催されました。平成30年度の各種会計決算では、2人の議員が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査を行いました。その結果を附帯決議として取りまとめ、議会として11項目の意見を付した上で、いずれも全会一致で認定しました。

#### 一定の成果を評価

30年度決算は一般会計歳出で128億8千483万円となりました。

家計簿で見ると、収入は、給料やアルバイト料など自分で得た収入(自主財源)の割合が44%、親からの仕送りなどの割合は46%となります。それだけでは足りないのが、10割は銀行からの借金をしなくてはなりません。

支出では、家の増改築費(投資的経費)が増加しています。これは、北船岡町営住宅や町道富沢16号線などのインフラ整備、船岡小学校の大規模改造工事など教育環境の整備などに力を入れてきた結果です。各分野においても一定の成果を上げています。

そんな財政ですが、貯金となる積立金は過去最高額を積み増すことができました。

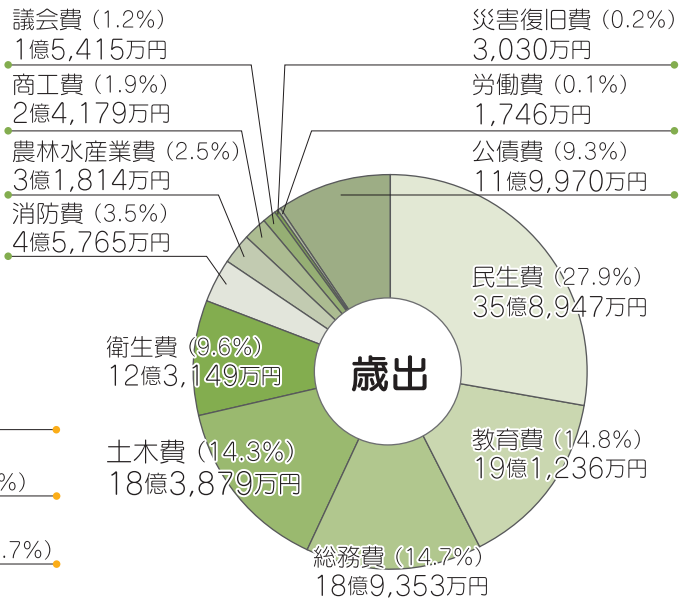
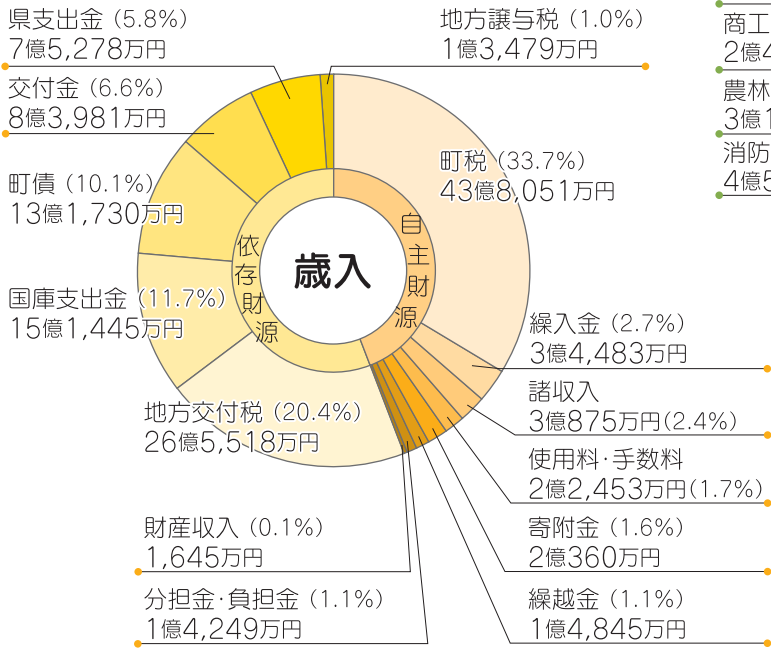
今後とも、将来を見据えた財政運営に配慮することが必要です。

平成30年度 決算

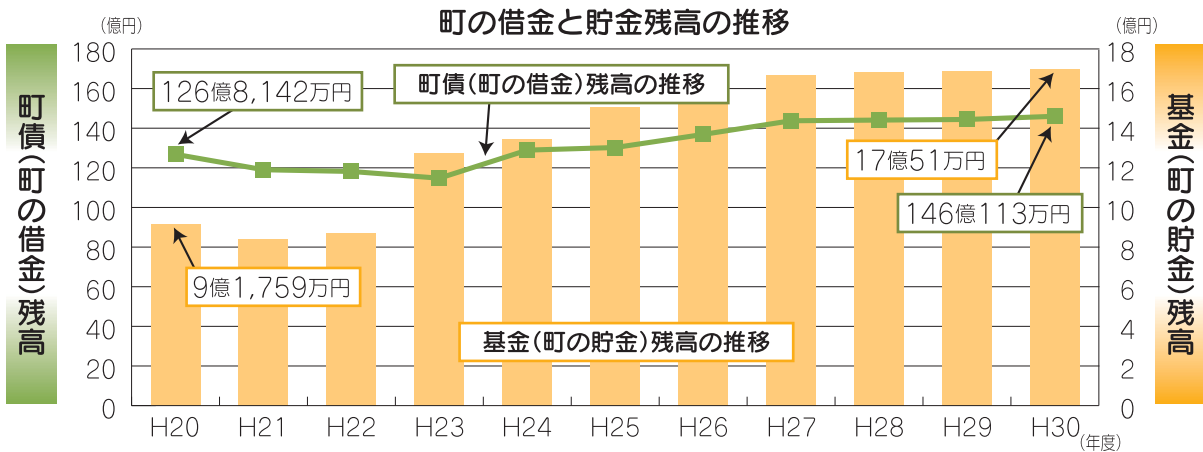
# 補助金ハンター！ 滝口町政！

しっかり検証 予算につなぐ附帯決議！

歳入総額 129億8,392万円



歳出総額 128億8,483万円



※平成30年度町債は、一般会計分(144億513万円)と土地取得特別会計(1億9,600万円)の合計です。  
 ※基金残高は、財政調整基金と町債等管理基金の合計です。

歳出について  
 (2)一般会計の地方債現在高は、ここ数年上昇傾向になっているため、ランニングコストを含めて多額の費用が必要な建設事業等については、長期的な財政見通しをしっかりと立てた上で慎重に進めていただきたい。

歳入について  
 (1)町税などの収益確保は最重要課題であり、今後も関係課が連携し迅速な対応と早期の回収に鋭意努力されたい。また、ふるさと応援寄附金の寄附額は鋭意努力されているが、更なる返礼品の開発や広報周知に力を入れていただきたい。

なお、次の事項について留意すること。  
 30年度の一般会計及び各種特別会計の決算審査の結果は、いずれも正確である。関係基金の運用状況も適正に運用されている。

監査意見書  
 代表監査委員 大宮正博  
 監査委員 桜場政行



## 平成30年度 一般会計にみる **主な事業**

平成30年度で議会が注目した目玉事業を紹介します。  
町の予算がきちんと執行されたかを決算審査特別委員会で審議し、会計決算を認定しました。

槻木放課後児童クラブ



放課後児童クラブ改修工事 **2,427万円**

- 6年生までを受け入れるための工事など

一般町道維持管理費

**7,835万円**

- 側溝改修や舗装改修など



船岡中学校西側側溝



白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業 **4,251万円**

- 大河原町と連携し、観光プロモーション活動など



トルコギキョウ



農業振興事業

836万円

- 花き生産販売戦略対策事業など

消防・水防事業

8,113万円

- 消火栓新設工事など



剣水コミュニティ消防センター新築



庁舎管理事業

9,732万円

- 役場庁舎1階のトイレの新設など

給食センター施設整備等  
維持管理事業

1億4,832万円

- 屋上防水改修工事、ファンルーム改修工事など



仙南地域広域行政事務組合負担金事業

7億2,473万円

- 広域的な消防やごみ・火葬業務などの管理運営負担金

平成30年度決算及び監査報告に対する総括質疑を行いました。

# 総括質疑



9月6日(金)に行なわれました

## 総括質疑

Q 「物乞い民主主義」との批判にどう反応するのか

A いわゆる3割自治にメスを入れることが先決事項

Q 以前の河北新報で、元鳥取県知事の片山氏が「最近の地方は物乞い民主主義」と発言していた。この指摘をどう考えるか。

A 自分たちのことを自分たちの責任で決められない仕組みや財政構造にメスを入れないで批判しても現実的ではない。

Q 30年度当初予算で、地方債の残高見込み127億2千970万円に対し、決算では144億512万円に増えている。経常収支比率も着実に増えてきているが。

A 増加傾向。これは臨時財政対策債の増加と緊急防災減災事業債を使った事業が増えたため。将来負担比率は逆に減ってきている。

Q 30年度は、委託費が大きく増えてきている。行政経費削減という面もあるが、補助金を得るために働ききれない仕事量を抱えているという面も見える。外部委託に対する考え方は。

A 職員が増えず、各種の行政需要が増える中で、専門性を持った外部への委託は必要。単純な丸投げにならないよう、指示書や仕様書などで詳細な検討をし、外部委託に努めていく。



秋本好則 議員



## 総括質疑

Q 一気に事業を行うより、財政の平準化を図るべき

A 有利な補助金を使い、一気にを行う方が財政上有利

Q 平成30年度施政方針に「相当の財源不足が懸念される。何も手を打たなければ将来財政が立ち行かなくなる危険要因もはらんでいる。」とあった。どのような手を打ち、危険要因を取り除くことになったのか。

A 行政コストの削減も重要だが、住民や議会からの要望に応える財源確保は大変重要と考える。積極的に取り組んだ。事業実施には、柴田町に有利な国、県補助金や交付金、地方債を活用し、なるべく一般財源や一般起債を使わないことで将来世代への負担の縮小に努めた。



白内恵美子 議員



Q 学校施設改造も一気に進んでいるが、財政平準化を大切にしないと将来に財政硬直化を招く。計画的に行うべきでは。

A 有利な補助金や交付金がある時に一気に行う方が財政上大変有利だ。

Q 一気に行うと、全部一緒に改修の時期が来る。その時に財政がどうなっているか。有利な補助金は将来も出てくる可能性がある。平準化を図ることを考えるべきでは。

A 借金額は確かに増えるが、将来の負担比率は下がっている。有利な借金を使っているという認識を持ってほしい。



# みんなの税金

## ちゃんと使ってる!?

### 歳入

税務課

収納率が上がったが

**質疑** 収納率が前年比0.4割増の95.9割になった。どのような収納

対策強化と、債権者管理を行ったのか。

**答弁** 滞納者には誓約書を提出してもらっている。不履行の場合は債権管理

や催告書送付を行う。また、年数回、大河原県税事務所や仙南広域滞納整

理課との連名での催告書も送付している。

債権管理については、

預貯金、自動車税や所得税の還付金の差し押さえ

などを行っている。生活困難で納付が難しい場合は、

執行を停止し、再度調査を行うなど、徹底している。

### 歳出

総務課

保健師、保育士の確保は

**質疑** 保健師3人減、保育士・幼稚園教諭6人減とあるが、職務に支障はなかったのか。

**答弁** 保健師については、臨時職員と、時間外勤務で対応。保育士は再任用職員が4人で、非常勤職員と時間外勤務で対応。

保健師、保育士ともに募集したが新規採用に至っていない。

総務課

職員のストレス度は

**質疑** 職員のストレスチェックで、60人が高ストレスと診断された。対応策は。

**答弁** セルフチェック診断で、診断表にはその対

応が明記されており、個人的に対応している。今回、60人に希望を取り、内3人が町の産業医と面談し相談を受けている。

財政課

庁舎の修繕と改修

**質疑** 庁舎の劣化は進んでいるのか。

**答弁** 老朽化しており、30年度は9カ所の修繕と改修を行った。主なものは、1階トイレの改修のほか、エレベーターの改修、3階教育委員会事務室を改修し、スポーツ振興課が入った。

つきつつある。業者へ修理を依頼するときは、その会社で定年退職した技術者を呼んで直してもらっている。国内では最後の機器であると聞いており、使用限度にきている。また、空調のほか、給排水や照明なども令和2年度以降に修繕を進めていく。

**質疑** 9カ所のうち、4カ所が空調関係だが、まだ修繕可能なのか。寿命とも取れるか。

**答弁** 昭和48年に庁舎が建った時から設備であり、限界に近



財政課

町有地の法面工事

**質疑** 槻木字館前地内の法面工事はどのように行ったのか。

**答弁** 29年度に設計を委託。内容を検討後、業者を決定。施工業者とコンクリートブロックの大きさを打合せ、ブロック積み工で行った。延長は

27・9㍎。



都市建設課

側溝の修繕は

**質疑** 修繕や掃除は計画されたものだけか。急遽、住民からの要望に応えたものはあるのか。

**答弁** 29年度に要望があり、できなかった町道船岡東23号線など32件を修

繕。その他、道路の修繕も含むが要望が380件あり、うち257件は車両センターで、100件は業者に委託し修繕を行った。その他、随時対応している。

農政課

太陽の村のイノシシ対策は

**質疑** 材料の購入費のみだが、施工はどのように行ったのか。

**答弁** 農政課の職員で施工した。毎回、3人から5人の職員が不定期で約2週間かけて行った。



子ども家庭課

児童館の利用増

**質疑** 児童館の利用が増えている。その要因は。

**答弁** 三名生児童館は遊具施設も整っており、地区外から親子の利用者が増えている。中には、利用していた子どもの成長に伴い、減少した児童館もある。

都市建設課

桜の育成管理状況は

**質疑** 育成管理業務で、10本の検証を行った。検証結果は。

**答弁** 桜の再生検証で、

土の入れ替えや施肥で検証を続ける。

10本のうち、城址公園三の丸広場の1本が枯死した。樹勢が回復したのは6本で、3本は現状維持か衰退している。27年から検証しているが、一時には回復する。しかし、毎年土の入れ替えを行わないと、また元に戻ってしまう。白石川堤の桜も観光には欠かせない。ここも踏圧が原因であり、



町民環境課

ストックヤードの活用は

**質疑** ストックヤードへの持ち込み量は増えているが、町の資源回収量は減っている。この状況から、ストックヤードの設置は資源回収に有効である。増設の検討をしてはどうか。

**答弁** 事業開始後3年を経過し、理解と周知が図られてきた。今後、更に利用者が増えた場合、各小学校区に設置も考えられるが、まだそのニーズ

には達していない。



商工観光課

船岡駅2階の改集札業務は

**質疑** 改集札業務をJRに委託している。人の配置は必要なのか。

**答弁** 土手内、北船岡、西船迫地区からの通勤通学の利用者は、正面の改札より2階の自由通路からが便利。駅舎を請願駅として建て直したことから、人の配置は必要である。





「慌慌慌？」

議員間討議  
経過報告  
Part 3

# クルスタート

1 日目 ワールドカフェ(議員間討議)



決算の審査結果を予算に反映する取り組みが始まりました。今回は、平成30年度の決算について、初日はワールドカフェ(ワークショップ)を行い、2日目は常任委員会ごとに分科会で意見を出し合いました。この意見を決算審査特別委員会で附帯決議案に取りまとめ、本会議において全会一致で可決しました。

この附帯決議が、令和2年度の予算にどう反映されるか。来年3月の予算審査に期待するところです。

ワールドカフェ(議員間討議)で出された意見(抜粋)	
ラウンド1	ラウンド2・3
<p>「30年度決算について感じること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入は増えたが中身はどうか？</li> <li>・経常収支比率の硬直化が懸念される</li> <li>・投資的経費が増加傾向</li> <li>・財政の平準化が必要</li> <li>・補助金に振り回されないようにすべき</li> <li>・補助金は使うもの←使われていないか？</li> <li>・補助金を使った効果が見えない</li> <li>・長期的視野に立って政策展開してほしい</li> <li>・委託が多い→丸投げ？</li> <li>・指定管理業者(収支厳密に)</li> <li>・観光施策上で「歴史」が出てこない</li> <li>・教育関係の事業が全体に進んでいない</li> <li>・企業の誘致策、雇用策が足りない</li> <li>・町中のインフラ整備も遅れている</li> <li>・桜の保護には観光客を増やすべきではない</li> <li>・決算理由は前年と同じ成果文面が多かった</li> <li>・全体的にバランス良くやっている</li> </ul>	<p>「①足りない視点、施策、事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が著しい、農村農業地帯の施策</li> <li>・各種団体への補助金が増えている</li> <li>・城址公園以外にも花のまちを整備</li> <li>・庁舎建設の筋道を考える</li> </ul> <p>「②さらに進めたほうが良い施策、事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役所のイノベーション</li> <li>・生活道路、側溝の改修</li> <li>・子育て支援施策を起爆にした定住促進</li> <li>・町民が自由に集まって活動できる場所</li> </ul> <p>「③やり方を見直した方が良い施策、事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師、保育士、技師の採用方法、定数確保</li> <li>・庁内各部署内の情報共有(横のつながり)</li> <li>・デマンドタクシーの運用</li> <li>・途切れの無い地域おこし協力隊の募集</li> </ul> <p>「④やらなくても良い施策、事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイトツーリズム(お金かけすぎ、もてなしすぎ)</li> <li>・スポーツ教室(女子サッカー教室)参加者少ない</li> </ul>



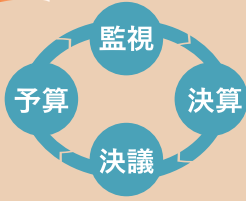
議長、議会選出監査委員の意見も必要なことから、決算審査特別委員会を休会し、議員全員協議会の形をとり、議員間討議を行った。

1日目はワールドカフェで、各議員から意見を出してもらう時間とした。「ラウンド1」では42の意見が、「ラウンド2・3」では101の意見が出された。



今回は、①から⑤まで。次年度の予算に反映されるか？

特集 議会改革！ 決算結果を予算へつなぐ



# 予算・決算サイ

2日目は、1日目で作られた意見を分科会ごとに抽出。テーマを絞り付箋紙に記入。それを1日目のラウンド2・3の項目（4項目）ごとに分類し、最後に附帯決議案の原文を作成した。

2  
日目

## 常任委員会（総務 厚生 文教 産業）ごとに分科会



3  
日目

## 決算審査特別委員会で附帯決議案の作成

### 附帯決議（大きな項目のみ紹介します）

#### 【附帯決議本文】

平成30年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定に当たり、下記の意見を付すので、後年度の予算編成及び事務事業執行等について、十分留意し適切に措置を講じるよう求める。

- 1 財政の硬直化について
- 2 補助金のあり方について
- 3 人員の確保について
- 4 地域公共交通について
- 5 災害対策について
- 6 町民の健康づくりについて
- 7 仙台大学との連携強化について
- 8 安全に歩ける道路の整備について
- 9 まちのにぎわいについて
- 10 里山ビジネス振興事業について
- 11 コミュニティプラザの活用について

※ 附帯決議とは＝議決された法案・予算・決算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議。法的拘束力を有しない。（デジタル大辞泉から）

3日目、決算審査特別委員会を再開。附帯決議案を取りまとめるため自由討議とし、分科会では気付かなかった文言や論点整理に必要な意見を出し合った。  
再度、決算審査特別委員会を休会し分科会を開催。出された意見や指摘を基に文言の修正と論点整理を行った。  
その後、決算審査特別委員会を再開し、文言の微調整を行い、ようやく附帯決議案が完成した。

他の議員からの指摘や意見に対し文言の修正中！  
少々お疲れの様子？

